

## 平成27年度行動計画

### 戦略Ⅰ 生業が支える『日本茶のふるさと「宇治茶生産の景観」』維持戦略

#### ① 宇治茶生産の維持対策

##### (1) 宇治茶関連基盤・施設整備支援

- ・「お茶の京都を支える宇治茶生産アクションプラン」に基づき、宇治茶生産の景観維持のため、「山なり茶園」の景観に配慮した被覆棚などの生産設備の整備等を支援
- ・宇治茶の生産基盤を支える茶園の改植やてん茶・玉露生産に必要な被覆棚整備、茶園管理用機械導入や製茶工場の機器整備を支援

#### ② 儲かる茶業に挑戦できる後継者・新規就農の仕組みづくり

##### (1) 宇治茶アカデミー

- ・府内の若手茶業経営者（流通・販売、加工業等）が、自らの経営力と宇治茶の伝統と価値の継承・発信力を高めるとともに、参加者同士の交流・連携を深め、宇治茶のイノベーション創出につなげることを目的に、新商品開発や輸出に向けた経営戦略の構築をテーマとした講座を開催。

##### (2) 新技術・新分野創出研究会の設置・運営

- ・宇治茶産業の成長のために、機能性新製品開発、ICT活用、人材育成等の重要課題の抽出を行う、茶業界や企業・大学等の各分野の専門家が分野横断的に宇治茶の新産業創出のためのデザインする連絡会議を創設。

#### ③ 特色ある宇治茶づくり

##### (1) 宇治茶関連研究

- ・宇治茶のブランド力向上と生産効率の改善等を目指して、①茶の機能性を活かした新商品開発、②玉露・てん茶の栽培・製法に関する研究、③新品種に関する研究、④安全、安心に関する研究及び⑤作業の省力化に関する試験等を実施。

## 戦略Ⅱ 普遍的な価値のある「宇治茶のブランド価値発信」戦略

### ① 宇治茶世界文化遺産登録プロモーション

#### (1) 宇治茶世界文化遺産ホームページ多言語化・PRカード作成

- ・世界遺産に向けた取組情報や応援団募集、候補地域の魅力など、宇治茶世界遺産に関わる情報を広く発信するホームページの多言語化（中国語2種）
- ・ホームページを周知するために配付カードを作成

#### (2) 地域提案型の「やましろ100ちーたび」、「やましろ八十八景」、やましろの「お土産」、「食」の発信

- ・地域人材の育成、支援等による提案型観光の推進と、募集段階からSNS等を活用して効果的な山城地域の魅力発信、拡散を図る。

#### (3) 宇治茶世界文化遺産シンポジウムの開催

- ・ワインと景観を地域の文化資源として捉えつつ地域振興を促進するフランス等の諸事例を学びながら、宇治茶の産地で「食の魅力」「空間の魅力」「茶の魅力」を演出する取組を考えるシンポジウムを開催（秋～冬）
- ・宇治茶生産者の声を聞くことのできるシンポジウムを開催

### ② 宇治茶の海外発信

#### (1) 国内の外国人に向けたPR

- ・「情報多言語MAP」や「指さし会話帳」の作成
- ・観光で国内を訪れている外国人向けに宇治茶の魅力伝える淹れ方教室などを実施（2回程度）

### ③ 急須でお茶を淹れ味わうおもてなし文化の再発見

#### (1) 宇治茶おもてなし教室

- ・国際会議や公開講座等の会場において、宇治茶をPRする淹れ方教室や振る舞い、パネル展示を実施（2回程度）

#### (2) 「宇治茶ムリエ」の育成

- ・主に住民・企業・団体等、広く一般を対象に、宇治茶をおもてなしする最低限の作法を習得するとともに、宇治茶についての歴史など基礎知識を習得するための講座を実施（約25回程度）

#### ④ 宇治茶の価値を未来へ伝達する知の拠点づくり

##### (1) 宇治茶文化講座の開催

- ・世界遺産登録に向けた取組の理解を促進し機運を盛り上げるために、登録を応援するファンの拡大や宇治茶の文化的価値を再認識できる文化講座を開催（7月以降4回程度）

##### (2) 宇治茶アーカイブの構築

- ・山城地域の茶園の栽培歴等を把握するために、中世及び近世に係る宇治茶に係る古文書の調査を実施

#### ⑤ まる旅

##### (1) 地域提案型の「やましろ100ちーたび」、「やましろ八十八景」、やましろの「お土産」、「食」の公募（再掲）

- ・地域人材の育成、支援等による提案型観光の推進と、募集段階からSNS等を活用して効果的な山城地域の魅力発信、拡散を図る。

#### ⑥ 茶育

山城のたから授業で『宇治茶に関心を持ち』、宇治茶ふれあい教室で『宇治茶を学び』、キッズ茶ムリエで『宇治茶の素晴らしさを深める』

##### (1) 山城のたから授業

- ・子どもたちに、「山城」を住む地域としてとらえ、誇れる「たから」がたくさんあることを知り、中でも世界的に貴重な宇治茶の伝統と価値がわかり、急須でお茶を淹れる手軽さと楽しささえも感じられる授業を小学校で実施（10回程度）

##### (2) 宇治茶ふれあい教室

京都府内の小学校他を対象に、授業の一貫として実施。

- ①茶香服 ②お茶の飲み比べ ③お茶の淹れ方 ④宇治茶の種類・効能  
⑤仕上げ加工製茶の実演 ⑥石臼体験等 【26年度実績 39回】

##### (3) キッズ茶ムリエの育成

- ・将来の宇治茶ファンを育成するため、小学3～6年生を対象に、キッズ「茶ムリエ」検定として、ペーパーテスト、茶香服・お茶の淹れ方教室等を実施し、子どもの頃からお茶に親しんでもらう「お茶育」を推進（4会場）

##### (4) T-1 グランプリ

小学3～6年生を対象に、①筆記クイズによるお茶の知識の習得 ②お茶の種類当て競技 ③お茶の淹れ方競技等に挑戦。「小学校チャンピオン」を決定し、将来を担う子供達に宇治茶への関心と親しみを涵養することを狙いに開催(1回)

### 戦略Ⅲ 宇治茶生産の景観が結ぶ「感動と共感の場づくり」戦略

#### ① 宇治茶でおもてなしをテーマとした美しい景観の村づくり

##### (1) 宇治茶未来づくりワークショップの実施

- ・世界文化遺産の構成資産候補地域で、府景観資産登録に向けたワークショップを開催(3地域)
- ・地域を越えてつながるワークショップ、関係者一同が集い目的を共有しネットワークを形成する

対象地域：宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、木津川市、宇治田原町、和束町、南山城村

プログラム：「ワールドカフェ」の手法を用いて楽しく多くの関係者と交流できる対話の場をつくる。

##### (2) 景観を生かした取組の実施

- ・地域と学生が共に企て実践するお茶の里づくりプロジェクト

###### 1) 継続フィールド：宇治田原町湯屋谷

テーマ：地域の魅力を活かした事業を企画・試行実施

昨年度は「観光」の視点で地域の魅力を発見し共有する取組みを行った。次の段階として、子どもをはじめ地域住民を対象にしたお茶に関わる歴史文化、農業や環境の学びや体験など、ESD(持続可能な開発のための教育)の充実やQOL(生活の質)向上につながる活動の展開を試行する。

###### 2) 新規フィールド：(1地域)

テーマ：地域の魅力再発見と紹介ビデオの作成

地域の魅力を「観光」の視点で再発見し地域住民が共有するとともに地域外への発信し地域のブランド力を高める。

##### (3) 宇治茶かおり回廊の整備

- ・山城地域の12市町村において、「お茶の京都」で整備を行う「戦略的な交流拠点」や魅力あふれるさまざまな拠点・景観地を結ぶ「回廊」(回遊ルート)を選定し、地域住民の参画を得て、「宇治茶生産の景観」にも配慮した多言語の「誘導サイン」、「案内板」、「解説板」等を整備

#### ② 宇治茶でおもてなし縁側カフェの開設

##### (1) みやこ構想2nd ステージ加速化事業で次の取組を支援

- ・農家民宿開設支援事業

体験農園を併設した農家民宿の開設に係る施設整備及び周遊案内板の整備

- ・ 体験交流施設整備事業

体験交流施設を併設した農産物直売施設、農家レストラン・カフェ、クライ  
ンダルテン等の開設に係る施設整備及び周遊案内板の整備

#### IV その他

(1) セカンドステージに向けた検討

3年間の取組について評価するとともに、取組のバージョンアップを図るため、  
プラットフォームのセカンドステージについて、世話人により検討する。